

能登半島復興支援フォーラム 被災地の現在と未来

— 能登半島地震からの復興に向けて —

関西学院は、大学に「人間復興」という理念をかかげる災害復興制度研究所を設け、また学生活動としてボランティア活動支援センターを設置し、被災地と関わり続けることを大切にしています。このような取り組みの一つとして能登半島復興支援フォーラムを企画いたしました。地震発生直後から現地を調査・取材した災害復興制度研究所作成のドキュメンタリー映像や現地伝統産業継承者の講演を通して被災地の現在と未来を考えます。

2024年6月28日(金)

11:00~12:30 【事前申込不要】

入場
無料

関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス H号館301号教室

■ ドキュメンタリー上映

「現場記録 令和6年能登半島地震」
(監督：李 洪起)

■ 講演：能登半島の未来を考える

講師：田谷 昂大 氏(田谷漆器店代表取締役)

■ ディスカッション

コメンテーター：岡田 憲夫(災害復興制度研究所顧問)

司会：山 泰幸(災害復興制度研究所所長)



た や
田谷 昂大 氏(田谷漆器店代表取締役)

1991年生まれ。大学卒業後田谷漆器店に入社。總持寺祖院(国の有形文化財)や唐津13番奥山「鯉」(ユネスコ登録)の修復などを手掛ける。2020年、伝統工芸の新しい可能性を求めて株式会社The Three Arrowsを設立、輪島塗の販売・商品企画のほか、2022年には伝統工芸品のレンタルサービス「LIFT」を開始、同年日本サブスクリプション大賞の特別賞を受賞した。このほか、金沢市内に器を伝統工芸品だけに絞ったレストランをオープンさせるなど精力的に活動を行っている。2023年より現職。2024年4月に岸田内閣総理大臣がジョー・バイデン米国大統領を訪問した際、田谷漆器店製の輪島塗コーヒーマグとボールペンがプレゼントされたことが話題となった。